

日本女子大学社会福祉学会

第20回記念大会

大会テーマ：社会福祉研究の軌跡

～歴史研究から見えてくるもの～

2013年7月6日（土）

於 日本女子大学 目白キャンパス 百年館

プログラム

於： 百年館104

受付	12:30～
開会	13:00
大会企画1 実践報告	13:10～14:40
成田すみれ (青葉台地域ケアプラザ)	
赤澤輝和 (本学科専任講師)	
大会企画2 シンポジウム	14:50～17:00
大友昌子 (中京大学)	
中尾友紀 (愛知県立大学)	
片居木英人 (十文字学園女子大学)	
懇親会	17:30～ (生協)

日本女子大学社会福祉学会大会のご案内

本学会は1994年に創設され、今年創立20周年を迎える。そのルーツは1954年、故一番ヶ瀬康子先生らの呼びかけで組織された「日本女子大学社会福祉研究会」にまで遡ることができる。時代を通じて常に議論されてきた「社会福祉学とは何か？」という問題を巡り、様々な理論研究や実証研究が蓄積されてきた。そこで今年度から3か年計画で、社会福祉研究の軌跡を辿りつつ、今後の社会福祉学について考える企画を持ちたい。

今年度は特に「歴史研究」に焦点をあて、20周年記念大会として「実践報告」と「シンポジウム」の2つの大会企画を行う。

アルバム・学会誌展示

於：百年館102(休憩室)



「これは戦後特に重要視されて来た新しい学問である社会福祉学についての研究発表の機関として、広く同学研究教育者の方々のために提供するものである」(創刊のことば 菅支那子)

科誌『社会福祉』は創刊1954年。現在より二回り小さく、しかし「卒業して家庭に入っても勉強したいとの声に押されてつくった」と熱い思いが込められている。現在では希少な創刊当初の科誌や、学会創立時のアルバムなど、懐かしい写真の展示や、昨年12月に行われた一番ヶ瀬先生を偲ぶ会のスライドを上映します。